

財 産 目 録

平成30年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	取得年度	使用目的等	取得価額	減価償却累計額	貸借対照表価額
<b>I 資産の部</b>						
<b>1 流動資産</b>						
現金預金						
現金	保育園		小口現金手許高			15,476
普通預金	香川銀行(本部)		運営費用等			7,118,955
普通預金	香川銀行(保育園)		運営費用等			26,615,530
普通預金	百十四銀行(保育園)		運営費用等			74,301
			小計			33,824,262
事業未収金	白樺保育園		利用料など			94,300
未収補助金	白樺保育園		補助金等			1,005,820
			流動資産合計	0	0	34,924,382
<b>2 固定資産</b>						
<b>(1) 基本財産</b>						
土地	元山町855番地2		第2種社会福祉事業である白樺保育園施設等に使用している			45,670,000
	元山町855番地3		第2種社会福祉事業である白樺保育園施設等に使用している			14,642,210
	元山町812番地1		第2種社会福祉事業である白樺保育園施設等に使用している			14,120,000
			小計			74,432,210
建物	元山町855-2:園舎	1977年度	第2種社会福祉事業である白樺保育園施設等に使用している	130,753,110	42,461,065	88,292,045
	元山町855-12:児童センター	2005年度	第2種社会福祉事業である白樺保育園施設等に使用している	48,357,750	22,344,307	26,013,443
			小計			114,305,488
			基本財産合計	179,110,860	64,805,372	188,737,698
<b>(2) その他の固定資産</b>						
構築物	園庭他		園庭遊具など	15,672,988	10,949,660	4,723,328
器具及び備品	園舎		パソコン・遊具など	40,520,008	27,192,343	13,327,665
ソフトウェア	園舎		会計ソフト他	1,576,376	1,143,950	432,526
退職給付引当資産	県振興財団		退職給付引当金			7,838,295
保育所繰越積立資産	香川銀行		将来における人件費の目的のために積立している定期預金			12,000,000
	香川銀行		将来における修繕費の目的のために積立している定期預金			2,000,000
	香川銀行		将来における備品購入等の目的のために積立している定期預金			2,000,000
			小計			16,000,000
保育所施設・設備整備積立資産	香川銀行		将来における施設整備等の目的のために積立している定期預金			20,000,000
			その他の固定資産合計	57,769,372	39,285,853	62,321,814
			固定資産合計	236,880,232	104,091,225	251,059,512
			資産合計	236,880,232	104,091,225	285,983,894
<b>II 負債の部</b>						
<b>1 流動負債</b>						
事業未払金	給食ほか					4,883,919
職員預り金	税金など					1,309,585
			流動負債合計	0	0	6,193,504
<b>2 固定負債</b>						
退職給付引当金	県振興財団					7,838,295
			固定負債合計	0	0	7,838,295
			負債合計	0	0	14,031,799
			差引純資産	236,880,232	104,091,225	271,952,095

(記載上の留意事項)

- ・土地、建物が複数ある場合には、科目を拠点区分毎に分けて記載するものとする。
- ・使用目的等欄には、社会福祉法第55条の2の規定に基づく社会福祉充実残額の算定に必要な控除対象財産の判定を行うため、各資産及び各負債の使用目的を簡潔に記載すること。
- ・「貸借対照表価額」欄は、「取得価額」欄と「減価償却累計額」欄の差額と同額になることに留意すること。
- ・同一の科目について控除対象財産に該当しえるものと、該当しえないものが含まれる場合には、分けて記載するものとする。
- ・科目を分けて記載した場合は、合計欄を設けて、貸借対照表価額と一致させるものとする。
- ・建物についてのみ「取得年度」欄を記載すること。
- ・減価償却資産（有形固定資産に限る）についてのみ「減価償却累計額」欄を記載すること。
- ・車両運搬具の〇〇には会社名と車種を記載すること。車両ナンバーは任意記載とする。
- ・預金に関する口座番号は任意記載とする。
- ・負債については、使用目的等の欄の記載を要しない。